

第10-2号

耕人

『耕人塾』

塾長 木村 民男

令和3年6月19日(土)

コンセプト「主体・楽しさ・創造」について

今年度は『耕人塾』の年間活動計画を13回予定していましたが、各市町のイベントが中止されたことやコロナ禍への配慮から実践活動と宿泊研修を大幅に見直さざるを得なくなりました。現在教学委員に内容を検討してもらっていますが、ピンチをチャンスととらえてアイデアを練っていきたいと思っています。

『耕人塾』のコンセプト（基本的な考え方）は「主体・楽しさ・創造」ですが、今回はこのことについて説明したいと思います。

「主体」：「主体」とは、自分の意志・判断・責任で行動しようとする態度のことです。塾生の皆さん一人ひとりが他からの指示や指導を待つのではなく、自分の置かれた場で何をしなければならぬかを自ら判断し行動することです。それには自分の感性を磨き、自己の言動を工夫し、勇気を持って行動することが大切です。主体となって行動するということは責任を伴うことであり、つらい思いや嫌な思いをすることもありますが、感動や達成感に繋がります。そして、そのような行動は必ず自分を大きく成長させてくれます。まず「わたしがやります」と言ってみませんか？

「楽しさ」：「楽しさ」とは、心が満ち足りて愉快になることです。楽しさは他から与えられるだけではなく、自分からつくり出す工夫が必要です。そのためには明るく笑顔で元気よく、礼儀正しいことが基本になります。失敗したり壁にぶつかったりすることもあります。それをそのまま受け入れて、ポジティブに対応していくことでチャンスにすることもできます。塾生一人ひとりが楽しんで参加し、回りをも楽しくさせるためにはどうするかを考えて行動できるようになったら素晴らしいですね。どんなことがあっても「明るく楽しく」活動していきましょう！

「創造」：「創造」とは、既成概念にとらわれないで新たなものを創り出していくことです。活動が安定してくると現状を維持しようとする入り込んでしまいがちですが、それでは活動がマンネリ化し停滞してしまいます。常に、さらに良い方法はないかを考えていくことが創造です。そのためには、それぞれの考えや意見を大切に、奇抜なアイデアも排除しないことが大切です。塾生の皆さんからどんな発想やアイデアが出てくるか楽しみです。「もっと良い方法があるはずだ」と考えてみませんか？

今年度は、3つのコンセプトを基に活動し、他の団体とのコラボレーション（共同・協力・連携）も工夫しながら、石巻地域に心の復興の大きなうねりを起こしていきたいと思っています。また、今年度は、『耕人塾』協力員の千葉和彦先生や中田中学校の塾生を中心に『耕人塾』登米支部結成の準備をしています。『耕人塾』の輪が広がっていくことは素晴らしいことですね。

「日本一への道—苦節13年箱根駅伝」

今年箱根駅伝で優勝した駒澤大学陸上部監督の大八木弘明氏のインタビュー記事の抜粋を紹介します。「ただ言われたからやるという意識ではなく、指導者が言った以上のことを汲み取り、自らやる意識になるかどうか。一流と二流を分けるのは、ここだと思います。信念って持つものじゃなく、貫き通すものだと思っているので、不遇の時にもその信念でやってきました。人のため、地域のために少しでも役に立つことをやっていれば、巡り巡って自分たちに帰ってくるのだと思います。」素晴らしい言葉ですね。大八木監督は箱根駅伝に出たくて24歳の時に駒澤大学夜間部に入學し、32歳の時にコーチに招聘されました。その頃から、選手と一緒に毎月1回地域の清掃活動やゴミ拾いを学年単位でグループに分かれてやっているそうです。それを知っている地域の人達が優勝して寮に帰ってきた選手たちを総出で祝ってくれたと話していました。